

## 2024年度麻雀同好会主催第1回麻雀大会報告

麻雀同好会会員 矢野 浩太郎

西弁麻雀同好会会員の矢野浩太郎と申します。麻雀同好会では年1回～2回の麻雀大会を開催し、クラブ会員間の親睦を深めることを目標として活動しています。

4月14日に麻雀大会を開催いたしましたのでご報告いたします。

コロナ禍の被害を受けて2019年を最後に長らく開かれていなかった当大会ですが、世の中もすっかり元通りとなり遂に復活することとなりました。近年では、麻雀プロリーグ「Mリーグ」の隆盛もあり、巷では子供向け麻雀大会が開催されるなど、徐々に第三次麻雀ブームが到来しつつあります。

そんなブームの後押しもあってか今年は久しぶりに16名の会員にご参加いただきました。

<参加者> (敬称略)

川原 和也、稗苗 秀三、中尾 真一、吉田 稔、松下 正、矢野 浩太郎、右田 敏之、村上 太郎、藤田 典彦、熊野 剛、森 俊也、小谷 昌崇、橋本 卓行、佐々木 健一、北原 宏修、吉武 賢一

今回の戦いの舞台は「麻雀Bar BRIO」さん。夜はBar形態の営業を行っているお店で、雀卓は5台完備。日曜のお昼ということもありお店は貸し切り状態でしたので、他のお客さんを気にすることなく皆さんゆったりとリラックスしながら闘牌されていきました。

さて、大会形式は、以下の通りです。

予選：16名によって点数を競う。予選順位1～16位までを決定。

決勝・順位決定戦：予選順位1～4位までが決勝卓に、5～16位までが順位決定戦卓に振り分けられる。それぞれの卓での順位が最終順位となる。

予選は東風戦3半荘によって争われ、決勝・順位決定戦は東南戦2半荘で争われます。すなわち、予選で4位までに残っておかなければ、優勝は狙えない過酷なルールです。予選では、1半荘が終わるごとに席替えを行うことでできるだけ幅広い面子と対戦して頂きました。

「これじゃないの?」、「これは切れんだろー」、などおしゃべりを楽しみながら打たれる方、飄々と打たれる方、打ち方は様々なれど皆さん総じてボヤキや嘆き節などとは無縁の明るい麻雀を打たれているのが印象的でした。西日本弁理士クラブに伝わる雀風なのかもしれないですね。

ちなみに、本大会では、赤入り(五筒2枚、五索1枚、五萬1枚)ルールで行っており

ますが、ベテランの先生が、「タンヤオ、赤3でマンガンやな（笑）」と完全に順応して上がっておられるところを見ると最近ではスタンダードなルールになって来たのかな、と思います。「Mリーグ」も赤牌を採用していますし、今後ますます純チャンやチャンタの出番は減りそうです（汗）。手役派は受難の時代ですね。閑話休題。

そんなこんなで予選も終わり舞台は決勝・順位決定戦へ移ります。過去の大会で優勝された方や決勝進出常連の方が順当に勝ち残られました。こういうのを見ると麻雀は運だけじゃなくて上手い下手がしっかり出るゲームだなあと改めて実感してしまいます。

さすがに決勝戦ともなると明るい雰囲気はそのままに熱さが加味された激しい対局となりました。お互いの手を読み、放銃を回避しつつ小さなアガリを狙う小場の続く展開。最後までもつれた大激戦となりましたが、2戦とも勝負手を制し連勝した川原会員が見事に優勝されました。

優勝卓の結果は下記の通りです。

最終順位	姓	名	決勝・順位 決戦	予選順位
1位	川原	和也	66.2	2位
2位	稗苗	秀三	-17.6	1位
3位	中尾	真一	-21	3位
4位	吉田	稔	-27.6	4位





優勝した川原先生には、トロフィーの他副賞といたしまして焼肉セットが授与されました。  
なお、順位決定戦もそれぞれ熱い展開が生まれており、幻の役満、「九蓮宝燈」のテンパイが…。結局流局となりましたが、上がっていたらそれこそホールインワン賞並みのお祭り騒ぎとなるところでした。

麻雀を打っている最中はもちろん、終わった後の感想戦もにぎやかに楽しめるので、学生時代に少し遊んだだけという方も是非昔を思い出してご参加ください。点数計算に不安があっても卓に誰か一人は計算できる方がいるので何とかなるものですよ。

西日本弁理士クラブの麻雀同好会で牌を片手に会員相互の親交を深めてみてはいかがでしょうか？